

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和6年7月29日(月)
クラス名(年齢)	ひよこ組(0歳児)
年間テーマ	音の探求活動

1、活動テーマ

<テーマ>

・音に興味を持つ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・玩具や手にした物を振ったり投げたりして遊ぶようになった。手にした物から音が聞こえると音に興味を持っていけないのではないかと思った。

2、活動スケジュール

・遊びの中で鈴の入った巾着を見せ、鳴らして見せる。手に持ち、振ったり投げたりして自分で音を出して遊ぶ

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)


・鈴の入った手づくり巾着

4、探究活動の実践

<活動内容>

・遊びの中で保育者が巾着を見せたり鳴らしたりして興味を持たせる
 ・子どもに巾着を渡し、見たり振ったり投げたりして遊べるようにする
 ・音が出ることに気がつき、振ったりよく聞いて遊ぶ
 ・「音が違うね」等入っている鈴の音が違うことを伝え聞かせる

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が巾着を見せながら音を出す様子をじっと見て興味を持つ ・「触ってみたい」と手を出す子もいる ・巾着を手渡されると感触を確かめたり振ってみる ・音が出ることに気がつき、激しく振る子もいる ・巾着を投げて音を出す子もいる ・色や形が違う巾着に興味を持ちいろいろな巾着を手にして音を出す ・音の違いにはあまり気がついていない ・音を聞きながら「れろれろれ～」と口で真似する子もいる 	

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・初めてのものに触れたがらない子がいるので、安心して安全に触れることができるようぬいぐるみ遊びの延長で触れられるよう布で色々な色の巾着を作った。嫌がることなくとても興味を持って触れることができた。音を聞いて自分の口で「れろれろれ～」と音を真似する子がいて、ただ音を出すだけでなく聴いた音を口で表現する姿に驚いた。自分で音を出す楽しさを感じられる遊びを広げていきたい。